

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

6

Vol. 4 No.6



E. ナウマン著「地殻の構造によって影響される地磁気. 付：全地球磁気調査の提言」全訳	山田直利・矢島道子	161~172
シームレス地質図を用いた地学学習, 宮城教育大学附属中学校の例	高橋裕平・高橋知美・川村寿郎・齊 隆	173~175
地質で語る百名山 第4回 筑波山	高橋裕平	176~177
地質で語る百名山 第5回 大雪山	太田英順	178~180
DVD 紹介 ポンペイ (POMPEII)	七山 太	181~182

● ニュースレター

全国科学博物館協議会平成 26 年度第 2 回総会および第 22 回研究発表大会参加報告	芝原暁彦・下川浩一	183~184
平成 27 年度 科学技術分野 文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞を受賞 —電子地形図導入による地質図類出版の高度化改良—	産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター	185

● GSJ 交差点 186

表紙説明

南九州市番所鼻ばんどころばなから望む開聞岳

番所鼻は南薩屈指の景勝の地である。伊能忠敬が文化9年（1812年）の第八次測量の際に訪れ、環状の岩礁のなす「海の池」から眺めた開聞岳と東シナ海の眺望を、「蓋し天下の絶景かな」と絶賛したとのことで知られる。地質的には、約24万年前の未溶結の阿多鳥浜火砕流堆積物の上位に約11万年前の溶結した阿多火砕流堆積物が覆っており、前者が柔らかいため波食され陥没して環状の岩礁が生じたと考えられている。開聞岳は薩摩富士とも呼ばれる美しい円錐形の活火山であり、特に9世紀末の噴火では、地域に大きな被害をもたらしたことが知られている。（写真・文：七山 太<sup>1)</sup> 1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門）

Cover Page

Kaimondake Volcano seen from Bandokorobana in Minamikyushu City. (Photograph and caption by Futoshi Nanayama).